

1980～1981

福島ガバナー公式訪問報告書

1980. 9. 18



鹿児島西ロータリークラブ

四 つ の テ ス ト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなのために なるか どうか

ロ ー タ リ ー 綱 領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

1. 奉仕の機会として知り合いを拡めること；
2. 実業及び、専門職業の道徳的水準を高めること；
あらゆる有用な職業は、尊重されるべきであるという認識を深めること；
そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活及び、社会生活に常に、
奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と、専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

時間を捧げよう奉仕のために TAKE TIME TO SERVE

親愛なる友よ：

貴君がこのメッセージを読まれる時、過去を思い浮かべていただきたい。私もそうでしたが、「忙しすぎて」奉仕の機会を逃がしたことが幾度かあったでしょう。

ロータリアンである私たちにとって、奉仕の機会は至るところにあります。目を向けて下さい。身体障害者、未熟練勤労者、貧しい人、飢えた人、また疾患に苦しむ人々が世界中にいるのです。

助けを必要とする人々への奉仕に捧げる時間は、その人たちの生活にだけでなく、われわれ自身の生活にも転機をもたらすこととなります。

さらに、ロータリーの会員には、75年余にわたり、ロータリアンが誇りをもって果してきた特別の責任があります。

ロータリーは、たくさんの歯車が運動して正確な時を刻む時計のようなものであります。一つでも歯が欠けていれば、時計は止ります。

歯車はロータリーの記章です。ロータリアンの一人びとりは、われわれのこの大きな国際機構を回転させるために活動しているのです。

それゆえに、本年度、われわれは何を優先すべきかを検討し、そして必ず奉仕のために時間を捧げる決心をしようではありませんか。

時間を捧げよう……

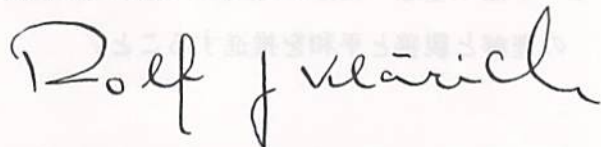
昔からよく言われることですが、「何かやって貰いたい時には、忙しい人に頼むがよい」と。

忙しい人とは、時間のたくさんある人のことではありません。やる値うちのある物事に時間を捧げる人のことです。

忙しい人は、何かしようと決心すると、貴重な時間を上手に使って、始めた仕事は必ずやり遂げます。

…奉仕のために

奉仕のために時間を捧げることは、われわれにできる最高の時間の使い方であり、奉仕に捧げる時間は、われわれ自身にも、われわれが奉仕する人々にも、無益ではないのです。「超我の奉仕」は決して空虚な標語ではありません。



1980-81年度 国際ロータリー会長
ロルフ・J・クレアリッヒ

目 次

クラブ協議会プログラム	1
役員並びに委員会名簿	2
会長報告	3
幹事報告	3
クラブ概況	4
西ロータリークラブの推移	6
会計報告	8
クラブ奉仕委員会	8
職業分類委員会	9
会員選考委員会	9
会員増強委員会	9
プログラム委員会	10
広報委員会	11
ロータリー情報委員会	11
会報・雑誌委員会	12
S・A・A	12
職業奉仕委員会	12
社会奉仕委員会	13
青少年奉仕委員会	13
インターアクト委員会	14
国際奉仕委員会	14
ロータリー財団委員会	15
出席委員会	15
親睦委員会	15
ローターアクト委員会	16

(別表及び別冊)

昭和55年度委員会活動方針

充填・未充填職業分類表

会員名簿

備品目録

行事予定表

鹿児島西ロータリークラブ役員・理事・委員会名簿

1980. 7 ~ 1981. 6

会 長	浜田 馨	副会長	柴山 一雄
(理事)		(理事)	↓ ⑤キヨキ、中村隆雄
幹 事	光吉 正昭	副幹事	徳沢 紀生
理 事	二階堂正明	肥後 克郎	土橋 滋
	佐伯 寿郎	高橋 司	
S・A・A	小正 芳史	副S・A・A	山下 皓三

委 員 会	所 属 委 員 (◎委員長、○副委員長)
出 席	◎岩男秀彦、◎中尾正昭、岩元 基、和田吉人、外西寿彦
職 業 分 類	◎田平礼章、◎福田敏之、中村善治、岩元紀彦、松田徳平 岡元健一郎
会 員 選 考	◎福田正臣、◎小山幸義、下野隆三、田原迫卓視、海老原利則
会 員 増 強	◎岩田太一、◎河井時義、久保政次、藤安辰造、池口恵観
プ ロ グ ラ ム	◎中村俊雄、◎瀬戸山勝資、久保田彦穂、川上鐵太郎、 前田好文、池田 広
広 報	◎福満武雄、若松宇治彦、川田恵一、中村一雄
親 睦	◎桜美義明、◎軸屋昭二、山田裕三、新原 剛、三角桂次郎、 内山光男、鍋島 宏、石神兼康、永松実夫
ロ ー タ リ ー 情 報	◎鮫島志芽太、◎小園正人、牧田健二、中尾 洋
会 報・雑 誌	◎岡山 栄、○渡辺 匡、木治屋克己、古木圭介
職 業 奉 仕	◎二階堂正明、○藤郡喜エ門、橋口十蔵、徳田 基、新福栄熊
社 会 奉 仕	◎肥後克郎、◎米倉清嘉、柿市高重、太原春雄、林 其為
青 少 年 奉 仕	◎土橋 滋、◎吉留 益、桜美四郎、佐伯延次郎、川畑正美
イ ン タ ー ア ク ト	谷口行生、中沢省三、中島修之輔、下田平哲夫、玉川哲生
ロ ー タ ー ア ク ト	安田正治、宇治野純章、前田隆造、平岡禎吉
国 際 奉 仕	◎佐伯寿郎、◎高井敏治、岩元正二、大庭 昇、原 三郎
ロ ー タ リ ー 財 団	◎川村 洋、○水淵清治、岩元健吉

ロータリー賞推せん ◎柴山一雄 ◎肥後克郎 ◎二階堂正明 ◎中村隆雄 ◎岡山栄
福満武雄

会 長 報 告

会 長 浜 田 馨

柴山会長が突然の御病気のため年度の当初から会長職を代行して参りましたが、8月の初めに柴山会長の辞任届出があり去る8月13日の理事会で之が受理され急に私が本年度の会長の重責を荷のう事となり大きなとまどいと不安にかられております。

然し乍ら私共のクラブは会員皆様の御協力により他のクラブに見られない友愛と知性にあふれておりますので私はこの輝かしい伝統を最も大事なものと考え、例会を更に楽しいものにし、内に親睦とロータリー情報活動を盛んにしながら外に対しては会員の増強と奉仕活動の充実に邁進致したいと存じておりますので一層の御指導御鞭撻の程をお願い致します。

幹 事 報 告

幹 事 光 吉 正 昭

幹事の仕事は、井上直前ガバナーによりますと、「R. I.、ガバナー、会長、各委員会からの情報の集中接点であり、パイプ役として会長を補佐する」とのことです。このパイプがつまらない様致したいと思います。又クラブの事務局長役として、各委員会が活潑に活動出来る様、出来るだけのお手伝いを致したいと思っております。

この一年間会長の諸方針に従い、親睦と友愛を中心として奉仕の精神で精一杯頑張りたいと思っておりますので、会員の皆様方の御指導、御協力方よろしくお願い致します。

ク ラ ブ 概 況 報 告

(昭和55年9月4日現在)

幹 事 光 吉 正 昭

1. 創 立 年 月 日 昭 和 3 8 年 3 月 2 3 日
2. 承 認 年 月 日 昭 和 3 8 年 6 月 2 7 日 (九州において第 2 8 番目)
3. チャーターナイト 昭 和 3 8 年 1 1 月 2 0 日
4. 当時の R.I. 会長 ニ ッ チ シ ・ P ・ ラ ハ リ ー (イ ン ド)
5. 当時のガバナー 進 藤 誠 一 (第 3 7 0 地区)
6. スポンサークラブ 鹿 児 島 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
7. チャーターメンバ 2 4 名 (その内、現在会員 8 名) 6 ページ
8. 区 域 鹿 児 島 市 中 央 部 を 貫 通 す る 甲 突 川 上 流 の 玉 江 橋 から 下 流 へ
—— 西田橋 —— 高麗橋に至り西へ高麗町本通り ——
大学通り —— 中郡電停 —— 更に電車路線に沿い鴨池公園
南角に至り西へ谷山街道を経て宇宿町へ至る鹿児島市西方区
域
9. 事 務 所 ホ テ ル 鶴 鳴 館 電 話 0 9 9 2 - 2 3 - 5 9 0 2
10. 例 会 日 毎 週 木 曜 日 1 2 時 3 0 分 ~ 1 3 時 3 0 分
11. 例 会 場 ホ テ ル 鶴 鳴 館
12. 歴 代 会 長 6 ページ
13. 歴 代 幹 事 7 ページ
14. 現 在 会 員 数 正 会 員 5 5 名
シニア・アクティブ会員 3 2 名
計 8 7 名
入退者数 入会者 2 名
退会者 1 名
15. 平 均 年 令 5 7 . 4 7 才
最 高 8 5 才 最 低 3 1 才

	80才台	1名	70才台	13名
	60才台	28名	50才台	20名
	40才台	20名	30才台	5名
16. 出席率	97.07% (7月～8月平均)			
17. 入会金	25,000円			
18. 会費	年間 150,000円			
19. ビジター会費	1,300円			
20. 会報	毎週 週報を発行			
21. ロータリアン誌	1名			
22. レビスタ誌	1名			
23. クラブ協議会	4回(あと2回以上)			
24. クラブフォーラム	0回(あと4回以上)			
25. 炉辺会合	0回(あと4回以上)			
26. 理事会	定例 …… 毎月第2例会日			
	臨時 …… 必要に応じ随時			
27. 委員長会議	毎月第1例会日			
28. 会長・幹事会	県下R. C分 0回(あと2回)			
	市内R. C分 1回(あと1回)			
29. 予算	別紙			
30. 財産目録				

西 口 一 夕 リ 一

昭 和	西 歴	ガ バ ナ 一		会 長
38 ~ 39	1963 ~ 64	嘉 村 平 八	初 代	桜 美 四 郎
39 ~ 40	1964 ~ 65	町 田 秀 実	2代	土 橋 英 夫
40 ~ 41	1965 ~ 66	島 津 久 厚	3代	塘 一 郎
41 ~ 42	1966 ~ 67	吉 村 常 助	4代	米 倉 秀 雄
42 ~ 43	1967 ~ 68	向 笠 広 次	5代	島 津 忠 丸
43 ~ 44	1968 ~ 69	大 津 篤 造	6代	蛟 島 志 芽 太
44 ~ 45	1969 ~ 70	日 高 安 壯	7代	佐 伯 延 次 郎
45 ~ 46	1970 ~ 71	八 田 秋	8代	久 保 田 彦 穂
46 ~ 47	1971 ~ 72	小 田 一 昭	9代	岩 元 正 二
47 ~ 48	1972 ~ 73	東 博 仁	10代	牧 田 健 二
48 ~ 49	1973 ~ 74	杉 原 頼 三	11代	川 村 洋
49 ~ 50	1974 ~ 75	竹 野 融	12代	新 福 栄 態
50 ~ 51	1975 ~ 76	後 藤 基 彰	13代	福 田 敏 之
51 ~ 52	1976 ~ 77	塘 一 郎	14代	岡 元 健 一 郎
52 ~ 53	1977 ~ 78	西 田 武 雄	15代	河 井 時 義
53 ~ 54	1978 ~ 79	吉 村 武 文	16代	藤 安 辰 造
54 ~ 55	1979 ~ 80	井 上 和 人	17代	川 上 鐵 太 郎
55 ~ 56	1980 ~ 81	福 島 親 比 古	18代	浜 田 馨

○チャーターメンバー(アルファベット順)

安 楽 慶 一 郎	福 井 浩	船 木 潔	堀 俊 一
犬 伏 康 夫	岩 元 健 吉	岩 元 正 二	河 井 時 義
川 村 洋	小 山 幸 義	倉 園 清 市	黒 木 長 太 郎
牧 田 健 二	松 元 明 人	大 小 田 友 一	大 山 実
西 郷 隆 永	桜 美 四 郎	柴 山 一 雄	島 津 忠 丸
田 原 誠 助	塘 一 郎	土 橋 英 夫	米 倉 秀 雄

計 24名

ク ラ ブ の 推 移

幹 事	会 員 数	平 均 年 令	平 均 出 席 率	その地区順位
川 村 洋	35 名	50.0 才	99.18 %	9 位
高 徳 三 蔵	44	49.0	99.11	9
河 井 時 義	48	51.40	99.09	8
藤 安 辰 造	46	52.70	98.81	
安 楽 慶 一 郎	55	53.30	99.79	9
柴 山 一 雄	58	53.00	99.92	4
高 井 敏 治	61	52.80	99.92	6
久 保 政 次	65	52.60	98.83	9
田 平 礼 章	73	53.19	99.01	5
浜 田 馨	79	52.09	98.14	10
外 西 寿 彦	75	54.30	98.73	9
小 山 幸 義	79	53.80	97.91	9
池 田 広	85	54.60	97.63	10
中 村 善 治	86	55.70	95.49	
小 園 正 人	90	57.10	96.52	
三 角 桂 次 郎	87	56.45	96.59	
川 田 恵 一	88	57.25	96.92	
光 吉 正 昭	87	57.47	97.07	

○ボールハリス・フェロー

故 塘 一 郎 池 田 広

ボールハリス準フェロー

柴 山 一 雄 桜 美 四 郎 岩 元 健 吉 川 村 洋
 河 井 時 義 岩 元 正 二 藤 安 辰 造 海 老 原 利 則
 外 西 寿 彦 岡 山 栄 中 村 善 治 (池 田 穰)
 (永 井 利 承) 川 上 鐵 太 郎 浜 田 馨 徳 田 基
 徳 沢 紀 生

以上 17名

会 計 報 告

会 計 高 橋 司

会計の任務はクラブの資金全部の管理、保管、記帖、資金の受入れと支払、及び会計報告書の作成と他に通常会計に関連のある仕事を処理し、又クラブの収支及財政状態について年1回、その他理事会の要求ある毎にその説明を行うにあります。

定期預金証書等重要なものは銀行の貸金庫に保管し、諸帖簿、証憑書類は毎月検証して確実に整備しております。

ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会

副 会 長 柴 山 一 雄

業 績

- 1) 傘下各委員会活動のギアとギアがうまくかみ合い、スムーズに行くよう年度の当初に傘下各委員長及其の関係者のファイヤサイドミーティングを開き、各委員会活動についてフォーラムを行った。
- 2) 毎月第一例会日に傘下各委員長の合同会を開いている。
- 3) ロータリー情報活動の一環としてクラブ奉仕委員長が主催して、毎月1回ロータクトも交えて学習会を開いている。

職 業 分 類 委 員 会

委員長 田 平 礼 章

業 績

- 1) 基本方針に基づく職業分類表を作成した。
- 2) 鹿児島市内各クラブの職業分類表をとりよせ、その一覧表を作り比較検討した。

会 員 選 考 委 員 会

委員長 福 田 正 臣

業 績

7月以来、入会候補者2名あり。先づ推薦者から候補者の人柄について詳細に説明をきき、つぎに候補者の知人、友人を訪ねて候補者についての情報を出来るだけ多く集めた。これらの作業は委員長だけでなく委員が交替で責任を以って行なうこととし、最後に委員全部で意見をおかわして検討して選考した。入会適格者としての審査項目はいくつかあるが、特に「例会出席が良く出来るか」ということを最重要項目として審査した。その他の適格項目は、入会して例会にまじめに出席することによって、本人の自覚と努力によって自ら身について行く筈である。

このようにして、2名の新会員の入会を得た。

会 員 増 強 委 員 会

委員長 岩 田 太 一

本年度にはいり、2名増強、1名減(転勤)となっています。しかし、目下増強予定者を2名、考慮中です。8月20日の学習会において、内部拡大について会員の意見を

聞き、それらを参考に目標の増強率10%達成になるべく努力したいと思っています。

プログラム委員会

委員長 中村俊雄

業 績

月	日	テ ー マ	卓 話 者	ク ラ ブ 行 事
7	3	地区協議会出席報告		ク ラ ブ 協 議 会
	10			ク ラ ブ 協 議 会
	17			決算報告と予算審議 各委員会活動方針発表
	24	鹿児島市ごみ収集の現況	鹿児島市環境局長 早 渕 一 徳	
	31	大脳生理と人の心	黒岩経営研究所長 黒 岩 東 一	
8	7	交換学生帰国報告、出発挨拶	藤武慶三、榎慎一 田浦安佐子	
	13	中国を旅して	会 員 玉 川 哲 生	
	21	留学生の予備教育について	国分高校教諭 唐 鎌 利 行	
	28	本県私学の立場	会 員 若 松 宇 治 彦	

広 報 委 員 会

委員長 福 満 武 雄

業 績

- 1) 広報活動の一環として、前年度に引き続き市内各クラブが分担して「ロータリーの友」と「週報」を各報道機関に送付しているが、当クラブはMBCに送付中である。
- 2) 「ロータリーの友」を県民局と市民局に送付して、一般市民の閲覧に供するよう依頼している。
- 3) 交換学生の帰国ならびに出発のニュース素材を地元紙2社と中央紙各支局及び民放2社に送付して報道を依頼した。

ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会

委員長 鮫 島 志 芽 太

業 績

- 1) 理事会、各委員会の協力を得てロータリー学習会を拡大、充実した。そのため年間の月別学習テーマと司会者を決め、事前研究ならびに出席、発言をしやすいとした。現在、2回開く。
- 2) 上記の会合で集約された情報を例会週報で報告した。
- 3) 新入会員(3人)に情報提供。特に委員全員が出席して新入会員と懇談、「ロータリアンの特典と責務」について、理解をはかった。
- 4) 情報資料発注、「ロータリー入門」、「ロータリー論説集」など。新入会員に資料を配る。なお、全会員には購入をすすめた。

会 報 ・ 雑 誌 委 員 会

委員長 岡 山 栄

業 績

- 1) 週報は予算の都合等で原則として、2頁ものを発行することとなり、記事スペースを広げるよう様式を改めた。
- 2) 原稿用紙を準備し各委員会のほか、一般会員にも投稿方をお願いしている。
- 3) ロータリーの友をローターアクト、インターアクトに配布した。

S. A. A.

委員長 小 正 芳 史

業 績

- 1) 例会が円滑に運営出来る様気を配り、又来賓、ビジターの方々に食事等がおくれな
い様にし、良い印象を与えるよう努力しています。
- 2) 座席については7月は委員会別にし、各委員がよく知り合えるようにしました。今
後は、いろいろ工夫を重ねていきたい。

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長 二階堂 正 明

業 績

- 1) 職場訪問の件は、理事会で10月2日を予定とすることを決定した。その際、優良
職業人を表彰し、その体験を聞いて問題点を共に考えることにしている。
- 2) 「すぐれた職業人をひろい地域にわたって選奨する運動」については、理事会には

かり計画推進につとめている。

社 会 奉 仕 委 員 会

委員長 肥 後 克 郎

業 績

- 1) 都市美化運動として、毎月第1日曜日に西駅前広場の早朝清掃にローターアクトと共に委員会より出席参加して居る。
- 2) 「ロータリー賞」として新聞少年を表彰し激励したい。
- 3) 僻地の小・中学校に対する「友愛文庫」の図書寄贈を5校選定したい。

青 少 年 奉 仕 委 員 会

委員長 土 橋 滋

業 績

- 1) 8月5日～7日、IAC年次大会への参加(ロータリー会員1名参加)於熊本。
- 2) RAC 100回例会を記念し、18名のロータリー会員参加で親睦を深める。
- 3) 切手収集、奨学基金及びIACへの助成継続事業に参加。
- 4) 記念チャリティーを計画、56年8月3日の予定で準備を開始。
- 5) ロータリーにたよらず、独立した奉仕団体育成に努力した。
- 6) RAC例会への義務出席者を決め、理解を深めるよう努めている。

インターアクト委員会

委員長 谷口 行生

業 績

- 1) RC、IA委員連絡協議会 7月9日 高島屋プラザ
議題として
 - IA年次大会についての話し合い。
 - RC、インターアクト委員と指導教官との話し合い。
 - 予算について
- 2) IA連絡協議会 7月12日 鹿児島商業高等学校
決定事項
 - 8月10日 城山遊歩道の清掃
 - 9月7日 中央公園の清掃
- 3) 鹿児島高校IACと留学生との交歓会 7月19日 鹿児島高校
- 4) IA年次大会 参加 8月5日～7日 阿蘇

国際奉仕委員会

委員長 佐伯 寿郎

業 績

会員の国際理解と親善を促進すべく、青少年交換計画の実施、派米学生 梶(甲陵高)田浦(純心高)、兩名の送り、来日学生ジョセフ・ハーバス、エイミー・シクラー、兩名の受け入れを鹿児島四クラブの合同委員長として行い、熊本での273地区オリエンテーション参加及鹿児島四クラブ合同のホストファミリーを交えてのオリエンテーション及び懇談会も併せて実施しました。

今後、海外組合せクラブと通信、財団委員会への協力はこれから実施していきます。

コータリー財団委員会

委員長 川村 洋

業 績

- 1) 百万弗食事 1回(年4回の内)
- 2) ポールハリスフェロー 1名
新、準フェロー 2名 (既加入 13名)
(目標 5名以上)

出席委員会

委員長 岩男 秀彦

業 績

- 1) 55年7月～8月の2ヶ月間の平均出席率は97.07%で前年2ヶ月の平均出席率に比較してみるといく分低下しています。今後委員一同出席率の向上につとめるつもりです。
- 2) 例年どおり、連続出席者に対しては、記念品をおくり表彰しました。
- 3) 2回以上欠席している会員には、ハガキによる出席のとく励をしました。

親睦委員会

委員長 桜 美 義 明

業 績

- 1) SAAと協力して、例会毎の席順をなるべく固定化しない様、委員会別と自由席を配席しております。

- 2) 学習会は、クラブ奉仕委員長のお世話で毎月 1 回第 2 水曜日に行なわれ、委員会毎に各自希望者並びに新入会員は出席するようよびかけている。
- 3) 誕生日、結婚記念日にカード、記念品を贈っています。
- 4) スマイルボックスについては、会員の関心を高め、自主積極的申告を勧奨しています。

ローターアクト委員会

委員長 安田 正 治

業 績

- 1) 毎月第 1 日曜日の西駅前の 6/30 (早朝)よりの清掃奉仕
- 2) 清掃奉仕後愛の聖母園訪問
- 3) 273 地区幹部研修会に 10 名参加 (城山観光ホテル)
- 4) 7/19 7/20 両日にわたり霧島にて 1 泊キャンプに多数参加
- 5) 7 月にローターアクトだけの勉強会を設け大いに研修しました。
- 6) 他のクラブへのメーキャップを積極的に行っている。
- 7) 西ロータリークラブで行っている毎月の勉強会に必ず 3 名位ずつ参加しております。
- 8) 毎月第 1、第 3 木曜日に行はれております例会はより充実した例会であるように実行しています。
- 9) 例会 100 回目を記念しまして 8/21 日鶴鳴館にて記念例会を開催致しました。
OB.ロータリアンの参加を戴きました。
- 10) 9/14~9/15 の別府での 273 地区年次大会に 15 名参加して勉強の予定です。